

戦略
1

キャリア強化による地域で活躍できる人材の輩出

戦略達成のストーリー

学生の進路選択の質(希望とのマッチング)を向上させ、進路の多様性に対応した施策を講じる。就職では、インターンシップ受け入れ先をさらに拡大するとともに、企業との関係構築を強化。公務員試験対策では、新たな取り組み(選抜試験、奨学金、公務員試験対策講座)により合格者の増加を目指していく。

現在の姿	
[キャリア支援]	学生が質の高い支援を受けるため、企業との関係づくりや公務員採用に関する取り組みを強化していく必要がある。進学では、国学院大学観光まちづくり学部への推薦編入学に関わる環境整備に課題がある。
[教育の質]	基礎学力の強化施策が求められている。
現在の指標	
キャリアセンター人員体制	観光まちづくり学部への編入学制度整備
1人	準備段階
公務員希望者選抜入試	観光まちづくり学部への編入学に向けた条件整備
準備段階	



達成後の姿	
[キャリア支援]	キャリアセンターの機能拡充と全学的な体制の確立によって、学生が一般就職や公務員就職、そして編入学といった多様な進路を選択・実現できている。国学院大学観光まちづくり学部への編入学環境が整備され、学生にとって新たな選択肢が増えている。
[教育の質]	基礎学力の向上によって、学生が希望する編入先への進学がスムーズに進行している。
評価指標	
キャリアセンター人員体制	観光まちづくり学部への編入学制度
3人	開始
公務員希望者選抜入試入学者	パブリック・インターナンシップ受け入れ企業開拓
10人	15人
令和5年度+18社	

戦略
2

教育の質を保証する仕組みの強化

戦略達成のストーリー

全学的な自己点検・評価体制を構築。認証評価で用いられる「内部質保証ループリック」に基づく自己点検・評価を行い、学習成果と3つのポリシーの検討・見直しを促進する。それに伴うカリキュラムの改定を適宜行うとともに、ICT環境を整備し教育の質の保証を促進していく。

現在の姿	
[教職員組織]	教員の世代交代に伴う自己点検・評価体制を改めて構築していく必要がある。
[教育の質]	教育の質向上のため、評価に基づく3つのポリシーやカリキュラム改定を適宜行なうことが求められている。
[DX/ICT]	ICT環境の整備による教育の質向上がさらに求められている。
現在の指標	
新たな自己点検・評価体制の構築進捗率	ICT環境の整備進捗率
30%	30%
学習成果と3つのポリシーの見直しと改定進捗率	
30%	
ICT環境の整備の検討	整備・検証・活用



達成後の姿	
[教職員組織]	教員の世代交代に伴う新たな自己点検・評価体制が構築され、全学的な評価活動と評価報告書作成の取り組みができるようになる。
[教育の質]	3つのポリシーおよびカリキュラムの改定が行われ、各施策にも反映されている。教養科目では多様性が維持され学生に提供されている。
[DX/ICT]	教学に関するICT環境の整備が完了し、教育の質向上や法人間連携に貢献している。
評価指標	
新たな自己点検・評価体制の構築	新たな方針に基づくカリキュラムの改定
完了	完了
学習成果と3つのポリシーの見直しと改定	ICT環境の整備
	完了

戦略

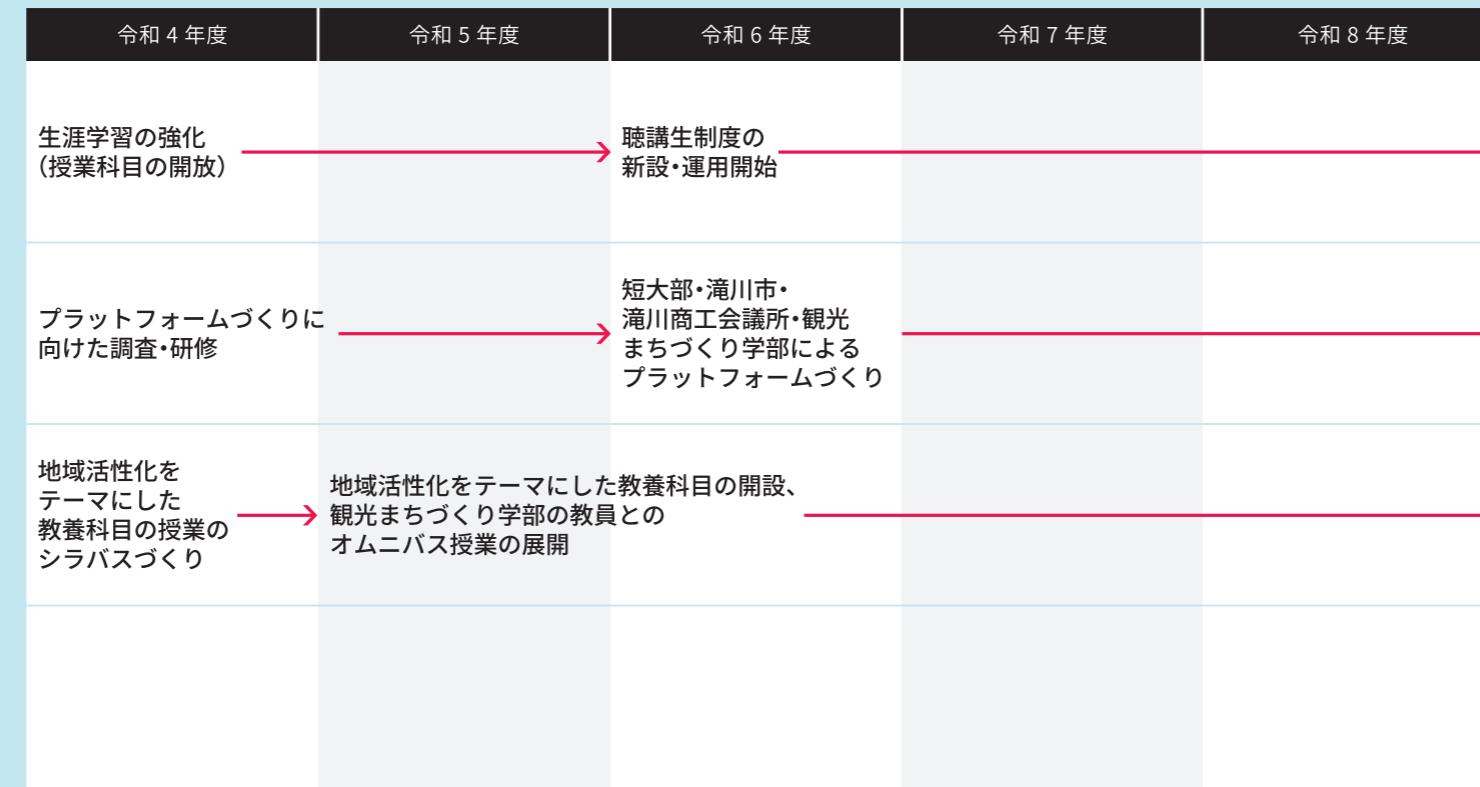
3

地域活性化に向けた多様な取り組みの推進

戦略達成のストーリー

授業を市民に開放することで生涯学習機能を高めていく。また、地域活性化をテーマにした教養科目を開設し、国学院大学観光まちづくり学部の協力を得て、地域活性化人材の育成を行う。同時に短大部・滝川市、国学院大学観光まちづくり学部が三位一体となつた“まちづくりプラットフォーム”を構築し、地域活性化を促進していく。

現在の姿	
[社会・地域貢献] 市民が受講しやすい学習の形を提供することや、地域活性化策の実施によって、本学が社会的な役割を果たしていくことが求められている。	
[教育の質] 全ての学生が地域活性化やまちづくりをテーマにした教養科目を履修できるカリキュラムを提供していく必要がある。	
現在の指標	
聴講生制度の整備	地域活性化カリキュラムの構築
準備段階	未整備
まちづくり プラットフォーム	未整備



達成後の姿

[社会・地域貢献] 本学が高等教育機関の役割として、聴講生制度による授業科目的開放が行われ、市民の自己実現に貢献できている。短大部・滝川市・国学院大学観光まちづくり学部の協働によるまちづくりプラットフォームが完成し、地域活性化を促進する新たな取り組みが展開している。

[教育の質] 地域活性化をテーマにした教養科目(座学と演習)に、国学院大学観光まちづくり学部の教員が参画している。

評価指標

聴講生制度の整備

完了

地域活性化カリキュラムの構築

完了まちづくり
プラットフォーム**完成**
4 新システムの導入と研修による、
きめ細かい個別指導の実施

戦略達成のストーリー

学生カルテによる学生情報の一元化を推進し、積極的に活用した個別指導を強化していく。また、自分の学業や課外活動、地域活動、就職活動の状況などをいつでも閲覧できるポートフォリオおよび授業の重点や成績評価を可視化するループリックを導入することで、学習意欲の向上に役立て、学習成果の向上へつなげる。

現在の姿	
[学生生活支援] 個別指導による学生支援を強化するため、学生情報の一元化による活用が必要になっている。短大部の退学率を改善する対応策が必要になっている。	
[教育の質] 学生の学修意欲をより高めるため、授業の評価基準や成績評価を可視化するループリック導入が求められている。	
現在の指標	
学生カルテ活用 30%	退学率 4.7%
ループリック活用 未整備	



達成後の姿

[学生生活支援] 一元化した学生情報を活用した個別指導が、学修成果の質的・量的な獲得につながっている。ポートフォリオの活用が学生自身の学習状況や不足点の自覚を促し、個別指導の受け入れにつながっている。

[教育の質] ループリックの導入による授業の重点や成績評価の可視化が、学生の学習意欲向上に貢献している。退学率が3%以下になっている。

評価指標

学生カルテ活用

100%

退学率

3%以下

ループリック活用

100%

ポートフォリオ活用

100%

戦略

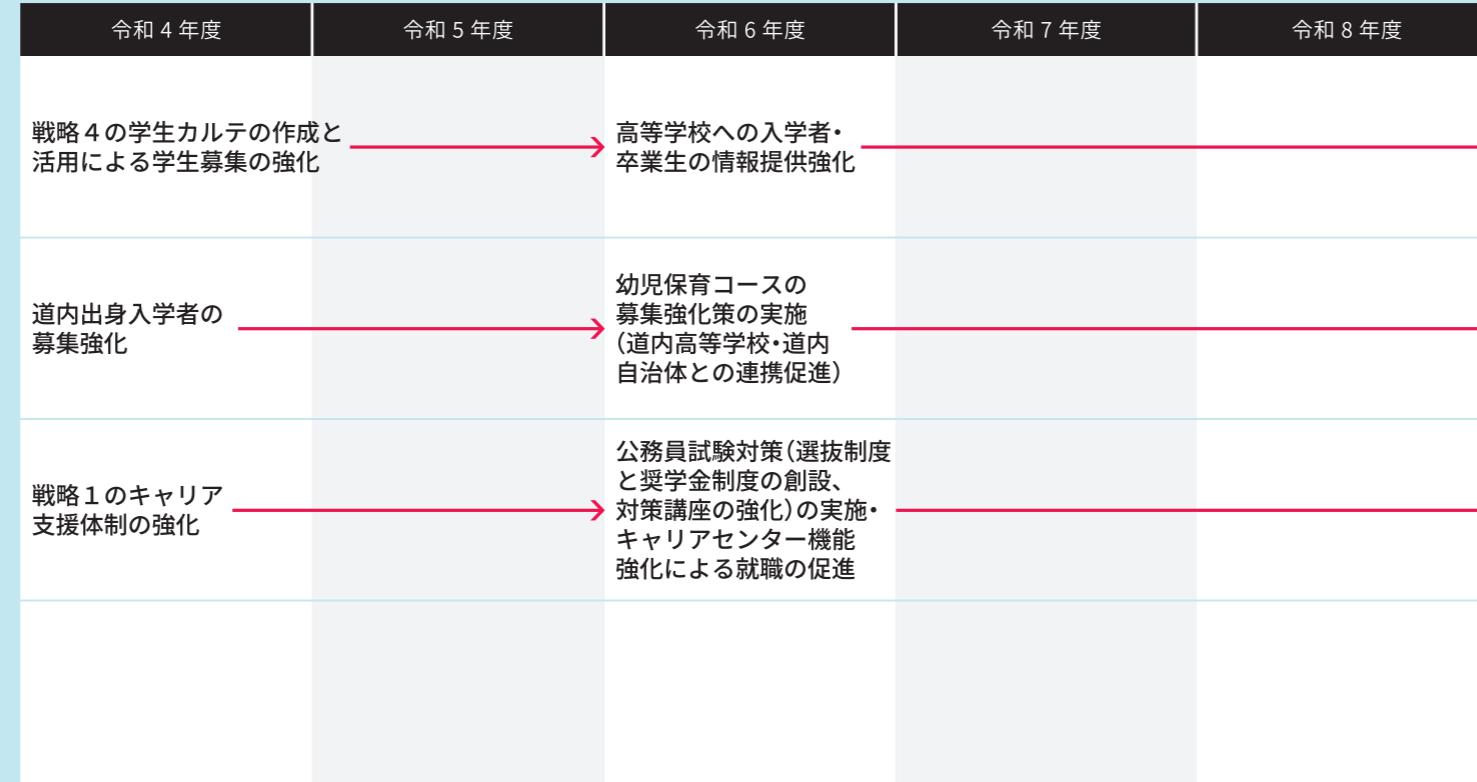
5

学生募集の強化

戦略達成のストーリー

キャリアセンターの機能を拡充し、学生が希望する職種や企業への就職を促進することで「道内出身者の募集強化」へつなげる。また、幼児保育コース専用の奨学金制度を積極的に活用するとともに、幼稚園教諭や保育士の人材確保に苦慮している自治体と授業料分担に向けた連携を進め、幼児保育コースの入学者増加を図る。

現在の姿	
[学生募集] 安定的な入学者確保のため、関係者へ在学生の学びや成長に関する情報提供を強化して、道内出身者を増やしていく必要がある。幼児保育コースを、学びと就職の両面から支援し、地域教育機関として、社会ニーズに応じた人材輩出に貢献していく必要がある。	
道内出身入学者 80 人	公務員試験対策進捗率 50%



達成後の姿	
[学生募集] 在学生や卒業生の姿が高校教員や高校生に届き、道内からの入学者数が増加している。	[キャリア支援] 独自の奨学金制度や自治体との連携による就職実績が、志願者の安定的な確保に貢献している。道内自治体や企業との関係拡大や強化によって、学生が希望する就職先への進路決定数が拡大し、特に幼児保育人材を望む道内自治体のニーズを満たしている。
評価指標	評価指標
道内出身入学者 100 人以上	公務員希望者選抜入試入学者 10 人以上
幼児保育コース入学者 40 人以上	企業への就職希望者 50 人以上